

蘇南中だより



自己を生かす生徒
助け合い励まし合う
知恵を働かす
たくましくやりぬく
令和5年7月3日発行

「子どもの命を守る」

生徒指導主事 中島 晋佑

可児市の子育ての基本理念である「マイナス10カ月から つなぐ まなぶ かかわる 子育て」のもとで、その主要な役割を担う義務教育を中心として、子育て全般における切れ目のない教育を推進していくため、「可児市教育大綱」が定められています。

この「可児市教育大綱」を実現するために「可児市教育振興基本計画」が策定されています。計画期間は令和5年度までとなっており、今年度が最終年度となっています。

「可児市教育振興基本計画」の中に「可児市の教育の根底にあるもの」が以下のように示されています。

本市の教育の根底にあるもの

「子どもの命を守る」

学校教育を進めていくにあたり、「子どもの命を守る」ことは何よりも大切であり、市及び教育委員会の考える学校教育の根底に常に存在しています。子どもの命を脅かすすべてのもの(いじめ、児童虐待、育児放棄、不登校、貧困、災害、交通事故等)から子どもを守っていきます。そのために、このようなことが起こらないよう関係機関と連携して未然防止に取組、問題や情報を共有して対応していきます。

昨年度は自宅の火災により蘇南中学校の生徒が1名亡くなっています。二度と悲しい事故や事件を起こさないためにも、「子どもの命を守る」取り組みは欠かせません。行事では、年度初めに学年ごとに自動車学校の方や可児警察署の交通課の方に来ていただいて行った「交通安全教室」、全校で行った「命を守る訓練」などがあります。



交通安全教室の様子



命を守る訓練の様子

命を守るための行事を実施し、いざというときの対応の仕方や、事故を起こさないようにするための方法を学ぶことも大切です。しかし、私たち教職員が大切にしなければならないのは、「日常」です。

目標をもって精一杯取り組める教科の授業。さまざまな価値について真剣に考える道徳の授業。仲間と共によりよい生活を創り上げるための学活や委員会活動。アレルギーがない生徒だけでなく全ての生徒が楽しく安心して食べられる給食の時間。学校で過ごす日常生活が充実することで何事にも前向きになり、自他の命を大切にしている生徒に育つことを願っています。

それでも生徒はそれぞれに悩みを抱えます。一人で抱え込まず、自分の悩みを大人に相談できるように「SOSの出し方」の教育についても進めています。

「保護者の皆様へ」

子どもを巡るさまざまな事件がよく報道されます。多くの子どもたちが虐待死しています。児童虐待防止法、児童福祉法により、子ども虐待の疑いをもった時は、教育委員会、福祉事務所、児童相談所に伝えることが国民の義務とされています。子どもたちが安心して安全な環境で生活できるようにすることが大人の義務であると考えます。そのため、虐待の疑いをもった時は、上記関係機関に伝えていきます。ご理解をお願いいたします。虐待が起こることがあれば子どもも親も学校も悲しい思いをします。何か困ったこと、教えてほしいことなどありましたら、学校にご連絡ください。